

# Artics

取扱説明書

## マトリックス スイッチャ

*MSW-3232 NTSC*

*MSW-6432 NTSC*

このたびは、マトリックス スイッチャ MSW-3232/MSW-6432 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、かならずこの取扱説明書をお読みにになり、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
お読みにになったあとは、後日お役に立つこともありますので、かならず保管してください。

### 概要

MSW-3232/MSW-6432 は、多数の入力カメラを任意の出力に割り当て、効率のよい監視をおこなうための映像切換え機です。

出荷時設定は、出力 1 チャンネルは入力 1 チャンネル、出力 2 チャンネルは入力 2 チャンネル.....

出力 32 チャンネルは入力 32 チャンネルに割り当てられています。

すべての設定は RS-232C または RS-485 のシリアル通信で制御します。

### 特長

- 映像信号専用のマトリックス スイッチャです。
- 入力対出力の組み合わせは、32 対 32(MSW-3232)、64 対 32(MSW-6432)です。
- 内蔵フォントは 12×16 ドット、ゴシック体です。
- 各チャンネルに最長 16 文字のタイトルを設定できます。
- 挿入タイトルには、JIS 第一、第二水準で 6,879 文字より選択できます。(JIS X0208-1990)
- タイトルの設定は、付属のタイトル設定ソフト for Windows にて簡単におこなえます。
- 時計を画面に挿入できます。
- クロス ポイントは、RS-232C、または RS-485 で設定できます。
- RS-232C、RS-485 のリモート コントローラがあります。(オプション)
- ラック マウント可能です。(取付金具はオプション)

※本取扱説明書記載の内容につきましては、改良その他の理由によりお断りなく変更する場合がございます。

2010.06.04 現在



# 目次

安全上のご注意	1	1-19.全入力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定	11
各部の名称とはたらき		1-20.出力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定	11
■前面部	3	1-21.全出力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定	11
■背面部(MSW-3232)	3	1-22.カレンダーの日付設定(年月日)	12
接続方法		1-23.時刻の設定(時分秒)	12
■システム例(MSW-3232)	4	1-24.時刻の30秒補正	12
■RS-232Cピンアサイン	5	1-25.カレンダー表示の設定	12
■RS-485の接続	5	1-26.スレーブアドレスの設定	12
専用ソフトの準備		2.リードコマンド(Read command)	
■パソコンに保存	6	2-1.出力チャンネルの設定を読む	12
■起動画面	6	2-2.全出力チャンネルの設定を読む	13
■モデルの選択	6	2-3.出力パターン番号を読む	13
■ファイル	6	2-4.オートシーケンス時間の設定を読む	13
基本動作		2-5.オートシーケンスパターン番号時間の全設定を読む	13
■電源立上げ	7	2-6.出力パターン番号の全設定を読む	14
■設定	7	2-7.タイトル表示位置の設定を読む	14
コマンド使用例		2-8.タイトル表示位置の全設定を読む	14
1.ライトコマンド(Write command)		2-9.入力チャンネルのタイトル表示/非表示の設定を読む	14
1-1.出力を切換え	7	2-10.入力チャンネルのタイトル表示/非表示の全設定を読む	15
1-2.出力をオートシーケンスに切換え	7	2-11.出力チャンネルのタイトル表示/非表示の設定を読む	15
1-3.全出力チャンネルを同じ入力チャンネルに切換え	7	2-12.出力チャンネルのタイトル表示/非表示の全設定を読む	15
1-4.全出力チャンネルを同じオートシーケンスに切換え	7	2-13.入力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の設定を読む	15
1-5.全出力チャンネルを任意に切換え	8	2-14.入力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の全設定を読む	16
1-6.全出力チャンネルを出力パターンの設定に切換え	8	2-15.出力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の設定を読む	16
1-7.オートシーケンスの時間を設定	8	2-16.出力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の全設定を読む	16
1-8.オートシーケンスの時間を同じ時間に設定	8	2-17.日付,時刻を読む	16
1-9.オートシーケンスの時間を任意に設定	8	2-18.カレンダー表示の設定を読む	16
1-10.出力パターン番号の設定を任意に切換え	9	2-19.スレーブアドレスの設定を読む	17
1-11.タイトル表示位置を設定	9	3.プロトコル(Protocol)	17
1-12.タイトル表示位置をすべて同じに設定	9	4.注意	17
1-13.全タイトル表示位置を設定	9	ラックマウント方法	
1-14.入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定	9	■ゴム足の取り外しかた	17
1-15.全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定	10	■金具の取り付けかた	17
1-16.出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定	10	製品仕様	18
1-17.全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定	10	故障かなと思う前に…	19
1-18.入力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定	10	品質保証規定	19
		おことわり	19
		必要なシステム構成	19

# 安全上のご注意

かならずお守りください

## ■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

 <h1 style="font-size: 2em;">警告</h1>	
<p>●本機のケース・裏パネル等はずさない!</p> <p>内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改造などは絶対におこなわないでください。</li> <li>・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</li> </ul>	 
<p>●本機を濡らさない!</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。</li> <li>・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。</li> <li>・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。</li> <li>・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</li> </ul>	  
<p>●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない!</p> <p>万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 
<p>●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない!</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	
<p>●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない!</p> <p>ほこりによりショートや発熱が起って火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。</p>	
<p>●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない!</p> <p>コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。</p>	
<p>●雷が鳴り出したら使わない!</p> <p>電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。</p>	



## 警告

<p>●アース線を接地する 感電を避けるためにならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。</p>	
<p>●電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！ 火災・感電の原因となります。</p>	
<p>●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>●本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。</p>	
<p>●移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>●長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！ 火災の原因となることがあります。</p>	



## 注意

<p>●本機の上に重いものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。 また、重みによって故障の原因となることがあります。</p>	
<p>●コード類は正しく配線する！ ・電源コードを熱器具に近づけないでください。 ・電源コードを本機の下敷きにしなないでください。 ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>●設置場所にご注意ください！ ・不安定な場所に置かないでください。 ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。 ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。 ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。 ・振動や衝撃のかわるところには置かないでください。 ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。</p>	
<p>●本機の通風孔をふさがない！ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。 ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。 ・風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・じゅうたんや布団の上に置く。 ・テーブルクロスなどをかける。</p>	

## ■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。



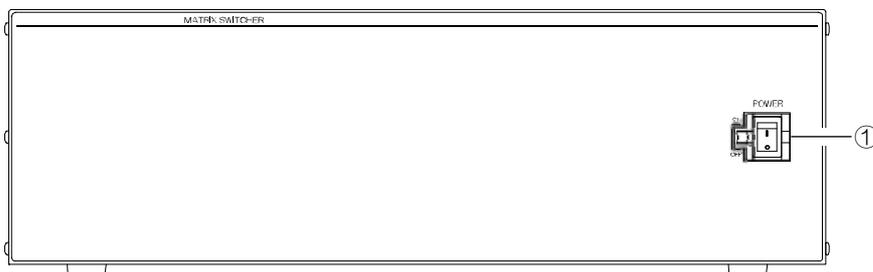
## 注意

- 電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する!  
そのままで使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。
- 内部の掃除について  
内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。  
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。
- 電源プラグの掃除をしてください  
電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。  
年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。
- カバーは乾いた布で拭いてください  
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。  
このとき、液が内部に入らないように注意してください。  
ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

## 各部の名称とはたらき

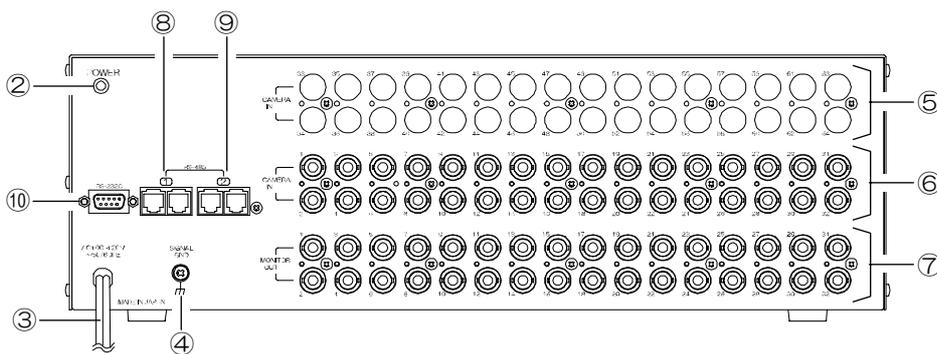
### ■前面部

- ①電源スイッチ  
本機の電源を ON/OFF します。ON にすると、LED が点灯します。



### ■背面部 (MSW-3232)

- ②電源 LED  
本機の電源を ON にすると、LED が点灯します。
- ③AC 入力ケーブル  
AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。
- ④シグナル グランド端子  
信号用接地端子です。機器間相互の GND を取るために接続してください。



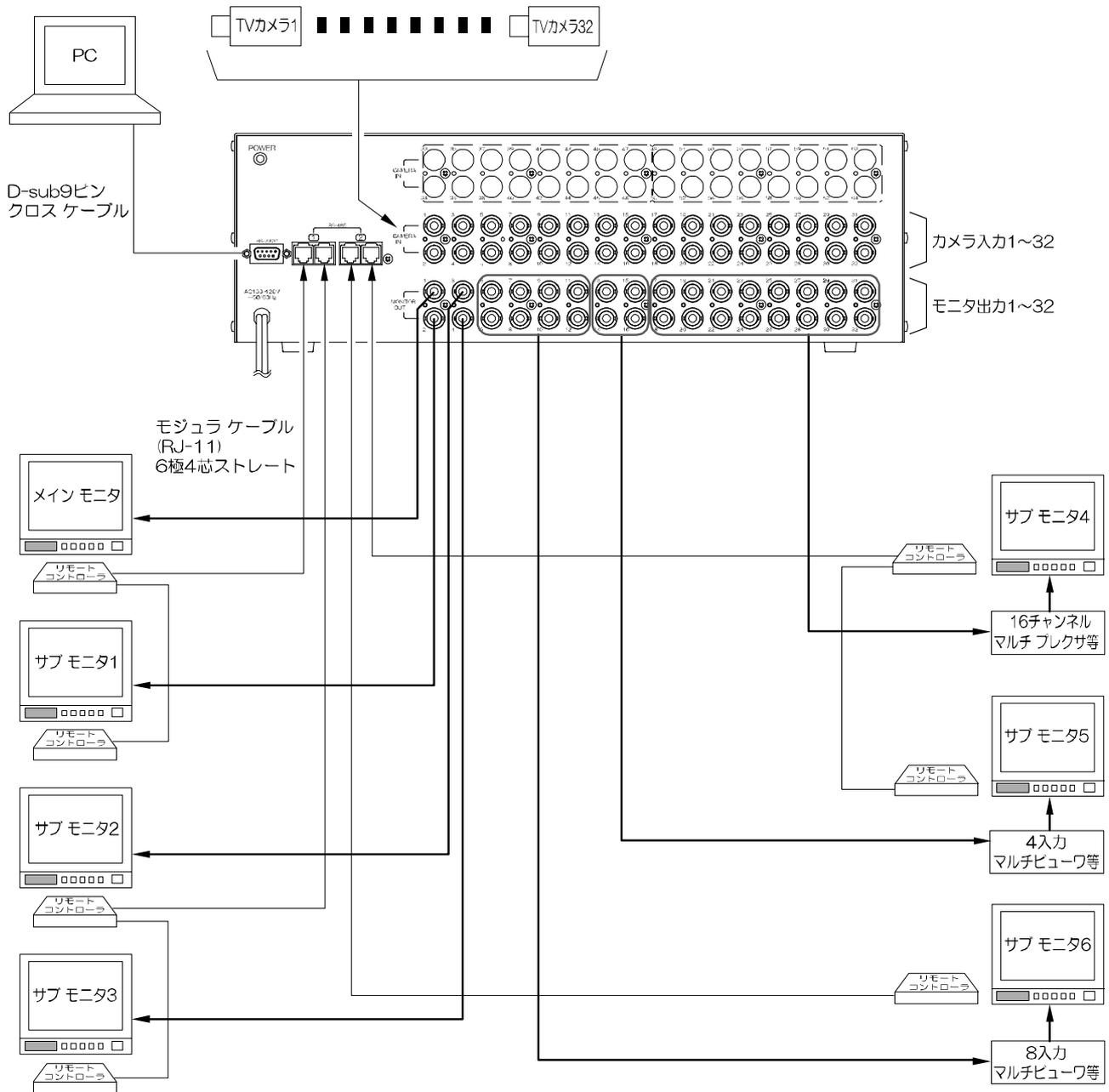
- ⑤カメラ映像入力端子 (MSW-6432)  
映像入力端子です。(75Ω 終端)  
※32 入力の場合はブランク パネルです。
- ⑥カメラ映像入力端子  
TV カメラの映像信号を入力してください。  
(75Ω 終端)
- ⑦モニタ映像出力端子  
TV モニタ等の映像入力端子へ接続してください。  
(75Ω 終端)

- ⑧RS-485 1 端子  
RS-485 の接続端子です。(Half Duplex)
- ⑨RS-485 2 端子  
RS-485 の接続端子です。(Half Duplex)
- ⑩RS-232C 端子  
RS-232C でリモート制御がおこなえます。

# 接続方法

## ■ システム例 (MSW-3232)

次の配線図を参考にして、接続してください。



- 注意**
- 電源は全ての接続が終わってからつないでください。
  - 電源をつなぐ前には必ずコンセントの電圧を確認してください。
  - 本機の各映像、および出力端子には電圧を加えないで下さい。
  - リモート コントローラにつきましては、販売店にお問合せください。

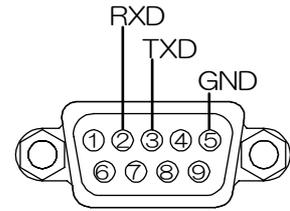
# 接続方法

## ■RS-232C ピン アサイン

本機の RS-232C は三線式 (RXD, TXD, GND) で、フロー制御をしていません。

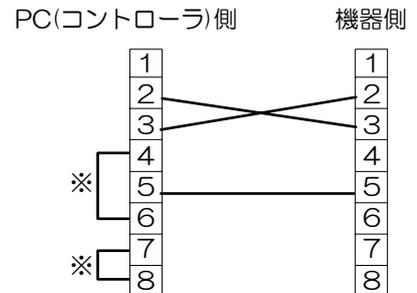
RS-232C コマンド表は、アルテックス ホーム ページよりダウンロードできますのでご利用ください。

[http://www.n-artics.co.jp/d\\_load/d\\_load.htm](http://www.n-artics.co.jp/d_load/d_load.htm)



D-Sub9 ピン(オス)

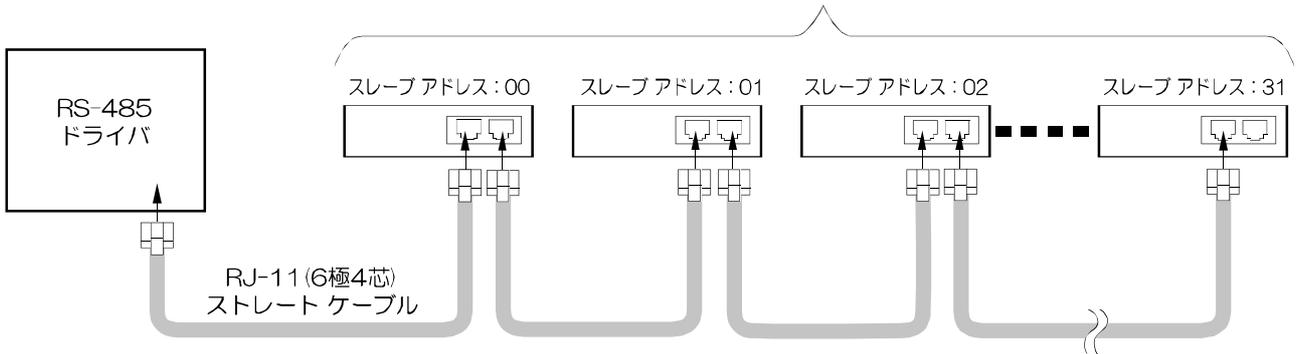
※フロー制御が必要な場合は PC(コントローラ)側の  
④-⑥,⑦-⑧を短絡してください。



## ■RS-485 の接続

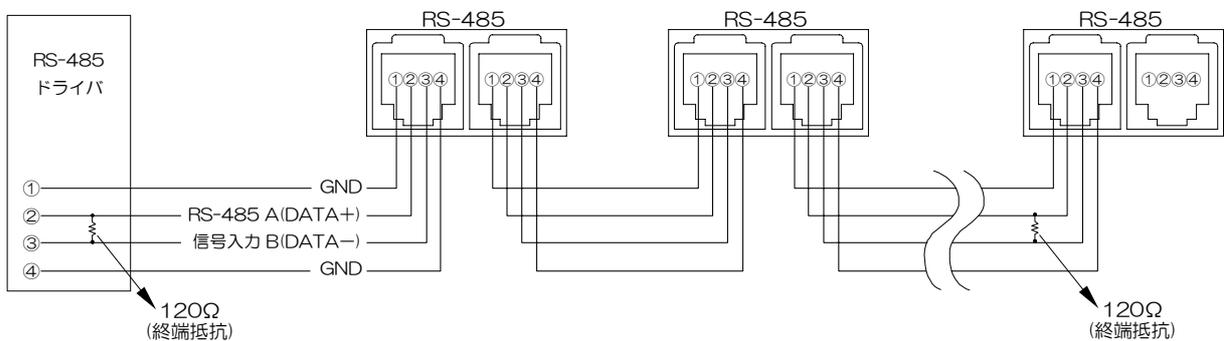
接続前にあらかじめ各機のスレーブ アドレス(00~31)を設定してください。  
下図のようにカスケード接続してください。(ケーブルは全長 1.2km まで)  
RS-485 ドライバよりスレーブ アドレスを指定して信号を送信します。

32台まで連結・制御できます



※下の拡大図のように、終端抵抗をとりつけてください。

【拡大図】



- 注意**
- 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
  - 本機の各映像、および出力端子には電圧を加えないでください。
  - RS-485 通信を使用時は RS-232C 通信は使用できません。

## 専用ソフトの準備

専用ソフトにより MSW-3232/MSW-6432 の画面表示の操作やタイトル入力を行うことができます。  
パソコンの動作環境は 19 ページ **必要なシステム構成** をご参照ください。

### ■パソコンに保存

製品付属のフロッピー ディスク内の  
“MSW3232.exe” をパソコンに保存してください。

または下記 URL よりのダウンロードすることもできます。MSW-3232 専用ソフトの ZIP ファイルをパソコンにダウンロードし “MSW3232.exe” を解凍して保存してください。

専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。



[http://www.n-artics.co.jp/d\\_load/softback.htm](http://www.n-artics.co.jp/d_load/softback.htm)

### ■起動画面

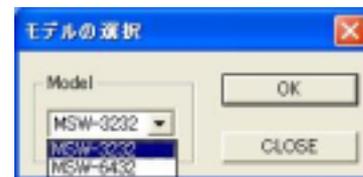
“MSW3232.exe” を起動させると、右図の画面が表示されます。

中央部にある 10 種類のボタンと、メニューバー “設定” のプルダウンリストの項目は同じものです。



### ■モデルの選択

専用ソフトは MSW-3232, MSW-6432 に共通です。  
使用する機種を選択してください。



### ■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

#### ●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

#### ●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

#### ●上書き保存

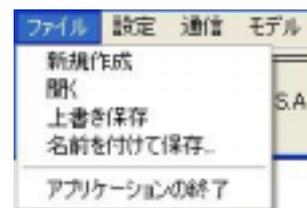
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

#### ●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は “dat” です。

#### ●アプリケーションの終了

専用ソフト(アプリケーション)を終了します。



## 基本動作

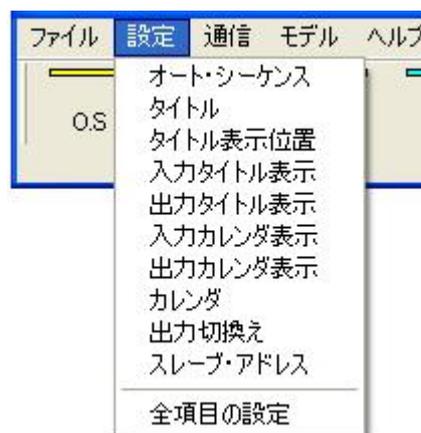
操作上のご注意 — この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作、および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

### ■電源立上げ

各種接続がしっかりおこなわれているかを確認してください。  
ACケーブルをコンセントにつなぎ、電源スイッチをONにしてください。  
このとき出力から映像が出ていることを確認してください。

### ■設定

専用ソフトの設定の項目で各種操作および設定をおこなうことができます。  
各設定ウィンドウの“設定”ボタンを押すと、内容が本体に送信されます。



## コマンド使用例

RS-232CまたはRS-485より外部制御をおこなう場合は、以下のコマンド使用例を参考にしてください。  
※混同を避けるため、数字のゼロを“0”アルファベット大文字のオーを“O”と本項目のみ表記します。

### 1. ライト コマンド (Write command)

#### 1-1. 出力を切換え

【例】出力 1 チャンネルを、入力 32 チャンネルに切換える場合

「 O 0 1 I 3 2 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Output01 Input32)

#### 1-2. 出力をオート シーケンスに切換え

【例】出力 1 チャンネルをオート シーケンス パターン番号 64 に切換える場合

「 O 0 1 A 6 4 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Output01 Auto64)

#### 1-3. 全出力チャンネルを同じ入力チャンネルに切換え

【例】全出力チャンネルを入力 32 チャンネルに切換える場合

「 O A I 3 2 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Output All Input32)

#### 1-4. 全出力チャンネルを同じオート シーケンスに切換え

【例】全出力チャンネルをオート シーケンス パターン番号 64 に切換える場合

「 O A A 6 4 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Output All Auto64)



# コマンド使用例

## 1-10.出力パターン番号の設定を任意に切換え

【例 1】出力パターン番号 64 の内容をすべて入力 5 チャンネルにする場合

「 TP64AI05+CR,LF 」のコマンドを使用します。

(Together pattern no.All Input channel)

【例 2】出力パターン番号 64 の設定を、下記表のように切換える場合

出力	入力	出力	入力	出力	入力	出力	入力
01	32	09	09	17	17	25	25
02	31	10	10	18	18	26	26
03	Auto01	11	11	19	19	27	27
04	04	12	12	20	20	28	28
05	05	13	13	21	21	29	29
06	06	14	14	22	22	30	30
07	Auto64	15	15	23	23	31	31
08	08	16	16	24	24	32	32

「 TP64I32I31A01I04I05I06A64I08I09I10I11I12  
I13I14I15I16I17I18I19I20I21I22I23I24I25I26  
I27I28I29I30I31I32+CR,LF 」のコマンドを使用します。

(Together Pattern no.)

## 1-11.タイトル表示位置を設定

【例 1】入力 32 チャンネルのタイトル表示位置を上にする場合

「 CPI32T+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Position Input no.Top)

【例 2】入力 32 チャンネルのタイトル表示位置を下にする場合

「 CPI32B+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Position Input no.Bottom)

※工場出荷時設定 Bottom

## 1-12.タイトル表示位置をすべて同じに設定

【例 1】全入力チャンネルのタイトル表示位置を上にする場合

「 CPIAT+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Position Input All Top)

【例 2】全入力チャンネルのタイトル表示位置を下にする場合

「 CPIAB+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Position Input All Bottom)

※工場出荷時設定 Bottom

## 1-13.全タイトル表示位置を設定

【例】タイトル表示位置を、下記表のように設定する場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	top	09	bottom	17	top	25	bottom
02	top	10	bottom	18	top	26	bottom
03	top	11	bottom	19	top	27	bottom
04	top	12	bottom	20	top	28	bottom
05	top	13	bottom	21	top	29	bottom
06	top	14	bottom	22	top	30	bottom
07	top	15	bottom	23	top	31	bottom
08	top	16	bottom	24	top	32	bottom

「 CPITTTTTTTTTBBBBBBBBTTTTTTTTTTTTBBBBBBBB+CR,LF 」  
のコマンドを使用します。(Character Position Input)

※工場出荷時設定 Bottom

## 1-14.入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定

【例 1】入力 32 チャンネルのタイトルを非表示にする場合

「 CTI32OF+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Input no.Off)

【例 2】入力 32 チャンネルのタイトルを表示にする場合

「 CTI32ON+CR,LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Input no.On)

※工場出荷時設定 ON

# コマンド使用例

## 1-15.全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定

【例 1】全入力チャンネルのタイトルを非表示にする場合

「 CTIAOF + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Input All Off)

【例 2】全入力チャンネルのタイトルを表示にする場合

「 CTIAON + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Input All On)

【例 3】入力チャンネルのタイトル表示を、下記表のように設定する場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「 CTINNNNNNNNNFFFFFFFFFFNNNNNNNNNNFFFFFFFFFF + CR, LF 」の  
コマンドを使用します。(Character Title Input)

※工場出荷時設定 ON

## 1-16.出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定

【例 1】出力 32 チャンネルのタイトルを非表示にする場合

「 CTO32OF + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Output no.Off)

【例 2】出力 32 チャンネルのタイトルを表示にする場合

「 CTO32ON + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Output no.On)

※工場出荷時設定 ON

## 1-17.全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定

【例 1】全出力チャンネルのタイトルを非表示にする場合

「 CTOAOF + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Output All Off)

【例 2】全出力チャンネルのタイトルを表示にする場合

「 CTOAON + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Character Title Output All On)

【例 3】全出力チャンネルのタイトル表示を下記表のように設定する場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「 CTONNNNNNNNNFFFFFFFFFFNNNNNNNNNNFFFFFFFFFF + CR, LF 」の  
コマンドを使用します。(Character Title Output)

※工場出荷時設定 ON

## 1-18.入力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定

【例 1】入力 32 チャンネルの日付,時刻を非表示にする場合

「 TSI32OF + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Input no.Off)

【例 2】入力 32 チャンネルの日付,時刻を表示にする場合

「 TSI32ON + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Input no.On)

※工場出荷時設定 ON

# コマンド使用例

## 1-19.全入力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定

【例 1】全入力チャンネルの日付,時刻を非表示にする場合

「 T S I A O F + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Input All Off)

【例 2】全入力チャンネルの日付,時刻を表示にする場合

「 T S I A O N + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Input All On)

【例 3】入力チャンネルの日付,時刻表示を下記表のように設定する場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「 T S I N N N N N N N N F F F F F F F F N N N N N N N N F F F F F F F F + CR, LF 」の

コマンドを使用します。(Time Signal Input)

※工場出荷時設定 ON

## 1-20.出力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定

【例 1】出力 32 チャンネルの日付,時刻を非表示にする場合

「 T S O 3 2 O F + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Output no.Off)

【例 2】出力 32 チャンネルの日付,時刻を表示にする場合

「 T S O 3 2 O N + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Output no.On)

※工場出荷時設定 ON

## 1-21.全出力チャンネルの日付,時刻の表示/非表示を設定

【例 1】全出力チャンネルの日付,時刻を非表示にする場合

「 T S O A O F + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Output All Off)

【例 2】全出力チャンネルの日付,時刻を表示にする場合

「 T S O A O N + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Output All On)

【例 3】出力チャンネルの日付,時刻を下記表のように設定する場合

出力	設定	出力	設定	出力	設定	出力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「 T S O N N N N N N N N F F F F F F F F N N N N N N N N F F F F F F F F + CR, LF 」の

コマンドを使用します。(Time Signal Output)

※工場出荷時設定 ON

## コマンド使用例

### 1-22. カレンダーの日付設定(年月日)

【例 1】 カレンダーの年を 2003 年にする場合

「 D S Y 0 3 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Date Set Year)

【例 2】 カレンダーの月を 1 月にする場合

「 D S M 0 1 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Date Set Month)

【例 3】 カレンダーの日を 20 日にする場合

「 D S D 2 0 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Date Set Day)

### 1-23. 時刻の設定(時分秒)

【例 1】 時刻の時を 15 時にする場合

「 T S H 1 5 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Set Hour)

【例 2】 時刻の分を 30 分にする場合

「 T S M 3 0 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Set Minute)

【例 3】 時刻の秒を 20 秒にする場合

「 T S S 2 0 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Set Second)

### 1-24. 時刻の 30 秒補正をする

時刻の 30 秒補正をする場合

「 T S A + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Set Adjust)

0 ~ 29 秒の間にコマンド入力をする、現在の時刻で秒が、00 となり、30 ~ 59 秒の間にコマンド入力をする、1 分進み、00 となります。

### 1-25. カレンダー表示の設定

【例 1】 カレンダー表示を年.月.日の順に表示する場合

「 T S D Y + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Display Year month day)

【例 2】 カレンダー表示を月-日-年の順に表示する場合

「 T S D M + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Display Month day year)

【例 3】 カレンダー表示を日/月/年の順に表示する場合

「 T S D D + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Time Signal Display Day month year)

※工場出荷時設定 年.月.日

### 1-26. スレーブ アドレスの設定

【例】 RS-485 用のスレーブ アドレスを 31 に設定する場合

「 S A 3 1 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Slave Address no.)

※設定は、RS-232C でおこないます。

## 2. リード コマンド(Read command)

### 2-1. 出力チャンネルの設定を読む

【例】 出力 1 チャンネルの設定を読む場合

「 R O 0 1 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Output0 1)

【アンサ例 1】 出力 1 チャンネルが入力 32 チャンネルに設定されている場合

「 O 0 1 I 3 2 + CR, LF 」を返します。

【アンサ例 2】 出力 1 チャンネルがオート シーケンス パターン番号 64 に設定されている場合

「 O 0 1 A 6 4 + CR, LF 」を返します。



## コマンド使用例

### 2-6.出力パターン番号の全設定を読む

【例】出力パターン番号 64 の全設定を読む場合

「 RTP 6 4 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Together pattern no.)

【アンサ例】出力パターン番号 64 が、下記表のように設定されている場合

出力	入力	出力	入力	出力	入力	出力	入力
01	32	09	09	17	17	25	25
02	31	10	10	18	18	26	26
03	Auto01	11	11	19	19	27	27
04	04	12	12	20	20	28	28
05	05	13	13	21	21	29	29
06	06	14	14	22	22	30	30
07	Auto64	15	15	23	23	31	31
08	08	16	16	24	24	32	32

「 TP 6 4 I 3 2 I 3 1 A 0 1 I 0 4 I 0 5 I 0 6 A 6 4 I 0 8 I 0 9 I 1 0 I 1 1 I 1 2  
I 1 3 I 1 4 I 1 5 I 1 6 I 1 7 I 1 8 I 1 9 I 2 0 I 2 1 I 2 2 I 2 3 I 2 4 I 2 5 I 2 6  
I 2 7 I 2 8 I 2 9 I 3 0 I 3 1 I 3 2 + CR, LF 」を返します。

### 2-7.タイトル表示位置の設定を読む

【例】入力 32 チャンネルのタイトル表示位置の設定を読む場合

「 R C P I 3 2 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Character Position Input no.)

【アンサ例】入力 32 チャンネルのタイトル表示位置が下に設定されている場合

「 C P I 3 2 B + CR, LF 」を返します。

### 2-8.タイトル表示位置の全設定を読む

タイトル表示位置の全設定を読む場合

「 R C P I + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Character Position Input)

【アンサ例】タイトル表示位置が、下記表のように設定されている場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	top	09	bottom	17	top	25	bottom
02	top	10	bottom	18	top	26	bottom
03	top	11	bottom	19	top	27	bottom
04	top	12	bottom	20	top	28	bottom
05	top	13	bottom	21	top	29	bottom
06	top	14	bottom	22	top	30	bottom
07	top	15	bottom	23	top	31	bottom
08	top	16	bottom	24	top	32	bottom

「 C P I T T T T T T T T B B B B B B B T T T T T T T T T B B B B B B B B + CR, LF 」を返します。

### 2-9.入力チャンネルのタイトル表示/非表示の設定を読む

【例】入力 32 チャンネルのタイトル表示/非表示の設定を読む

「 R C T I 3 2 + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Character Title Input no.)

【アンサ例】入力 32 チャンネルのタイトルが表示に設定されている場合

「 C T I 3 2 O N + CR, LF 」を返します。



## コマンド使用例

### 2-14.入力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の設定を読む

入力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の全設定を読む場合

「RTSI+CR,LF」のコマンドを使用します。(Read Time Signal Input)

【アンサ例】入力チャンネルの日付時刻表示が下記表のように設定されている場合

入力	設定	入力	設定	入力	設定	入力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「TSINNNNNNNNNFFFFFFFFFFNNNNNNNNNNFFFFFFFFFF+CR,LF」を返します。

### 2-15.出力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の設定を読む

【例】出力32チャンネルの日付,時刻表示/非表示の設定を読む場合

「RTSO32+CR,LF」のコマンドを使用します。(Read Time Signal Output no.)

【アンサ例】出力32チャンネルの日付,時刻が表示に設定されている場合

「TSO32ON+CR,LF」を返します。

### 2-16.出力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の全設定を読む

出力チャンネルの日付,時刻表示/非表示の全設定を読む場合

「RTSO+CR,LF」のコマンドを使用します。(Read Time Signal Output)

【アンサ例】出力チャンネルの日付,時刻表示が下記表のように設定されている場合

出力	設定	出力	設定	出力	設定	出力	設定
01	表示	09	非表示	17	表示	25	非表示
02	表示	10	非表示	18	表示	26	非表示
03	表示	11	非表示	19	表示	27	非表示
04	表示	12	非表示	20	表示	28	非表示
05	表示	13	非表示	21	表示	29	非表示
06	表示	14	非表示	22	表示	30	非表示
07	表示	15	非表示	23	表示	31	非表示
08	表示	16	非表示	24	表示	32	非表示

「TSONNNNNNNNNFFFFFFFFFFNNNNNNNNNNFFFFFFFFFF+CR,LF」を返します。

### 2-17.日付,時刻を読む

本機の、現在の日付,時刻を読む場合

「RTD+CR,LF」のコマンドを使用します。(Read Time & Date)

【アンサ】「YY.MM.DD hh:mm:ss+CR,LF」を返します。

※YYは年,MMは月,DDは日,hhは時,mmは分,ssは秒をあらわします。

### 2-18.カレンダー表示の設定を読む

カレンダー表示の設定を読む場合

「RTSD+CR,LF」のコマンドを使用します。(Read Time Signal Display)

【アンサ例 1】カレンダー表示が年.月.日の順に設定されていた場合

「TSDY+CR,LF」を返します。

【アンサ例 2】カレンダー表示が月-日-年の順に設定されていた場合

「TSDM+CR,LF」を返します。

【アンサ例 3】カレンダー表示が日/月/年の順に設定されていた場合

「TSDD+CR,LF」を返します。

## コマンド使用例

### 2-19.スレーブ アドレスの設定を読む

【例】RS-485用のスレーブ アドレス設定を読む場合

「 R S A + CR, LF 」のコマンドを使用します。(Read Slave Address)

【アンサ例】スレーブ アドレスが 31 に設定されている場合

「 S A 3 1 + CR, LF 」を返します。

※RS-232Cでリードしてください。

### 3.プロトコル(Protocol)

ストップ ビット(Stop bit)	1
データ ビット(Data bit)	8
パリティ(Parity)	偶数(Even)
データ レート(Data rate)	9600bps
コード(Code)	アスキー(ASCII)

CR(Carriage Return)…行頭復帰(アスキー コードの制御文字)  
LF(Line Feed)…改行(アスキー コードの制御文字)

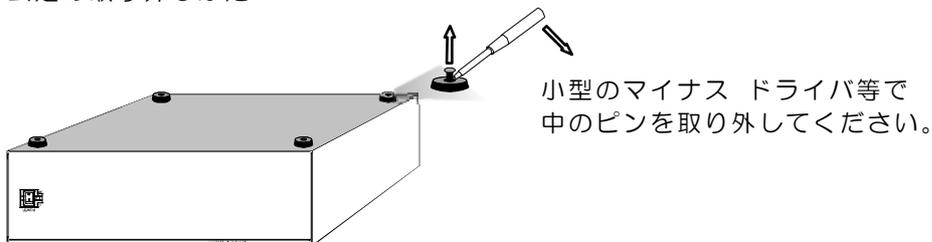
### 4.注意

- コマンドの連続発行は、200mseconds 以上の間隔を空けてください。
- RS-485 で使用の場合、コマンドの先頭にスレーブ アドレスをつけます。  
アンサの先頭にもスレーブ アドレスがつきます。

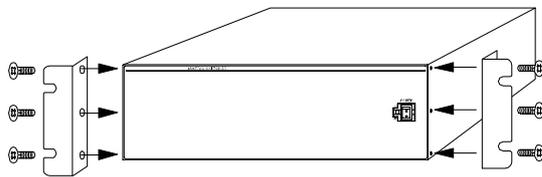
## ラック マウント方法(オプション)

MSW-3232 は 19 インチ ラック(JIS/EIA)に据え付けてご使用いただけます。  
ラック マウント キットはオプションです。次ページの製品仕様をご参照ください。

#### ■ゴム足の取り外しかた



#### ■金具の取り付けかた

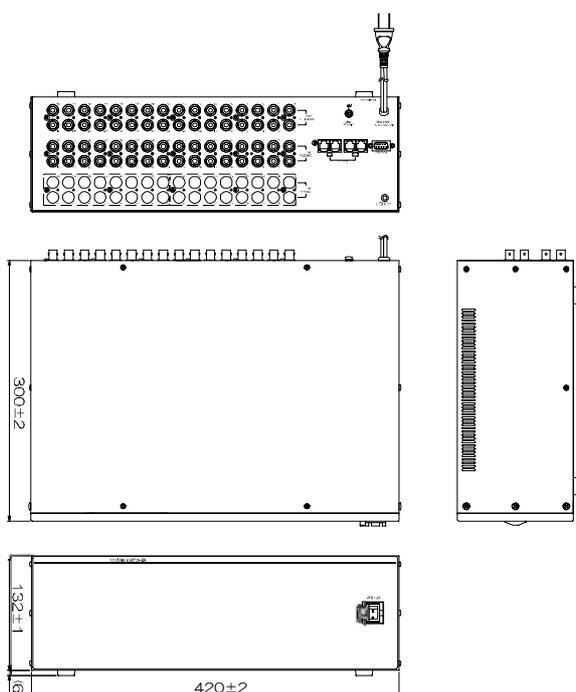


# 製品仕様

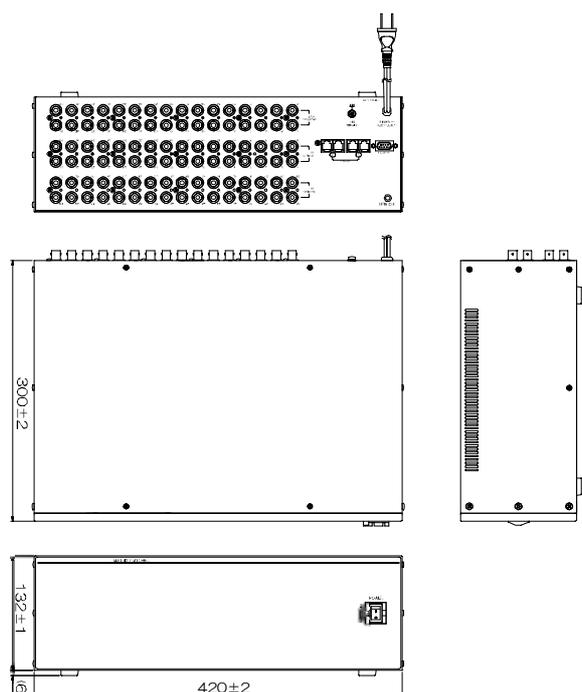
- 映像入力 NTSC 方式準拠
- カメラ映像入力
  - MSW-3232 VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 32系統 BNC端子
  - MSW-6432 VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 64系統 BNC端子
- モニタ映像出力 VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 32系統 BNC端子
- RS-232C 1系統 D-Sub 9ピン(オス) (RXD,TXD,COMMON)  
RS-232C 信号規格準拠
- RS-485 2系統 モジュラ ジャック(RJ-11)×2(ループ スルー)  
RS-485 信号規格準拠(Half Duplex)
- タイトル挿入 JIS 第一,第二水準(JIS X0208-1990)の 6,879 文字から最長 16 文字まで  
縁取りあり
- タイトル位置 画面の下中央/上中央
- カレンダー表示 年,月,日 時:分:秒 画面上部
- 周囲温度 0~40℃(但し, 結露無きこと)
- 電源電圧 AC100V±10%
- 消費電力
  - MSW-3232 約 10W
  - MSW-6432 約 12W
- 外形寸法 420(W)×300(D)×132(H) (mm)(ゴム足,突起部除く)
- 質量
  - MSW-3232 約 5.0kg
  - MSW-6432 約 5.5kg
- 付属品 取扱説明書(本書)  
フロッピィ ディスク(専用ソフト for Windows)
- オプション ラック マウント キット(JIS) RMI-J3-421(ラック マウント金具×2)  
ラック マウント キット(EIA) RMI-E3-421(ラック マウント金具×2)  
リモート コントローラ  
MSW-3232→MSW-6432 にするとき… 32 入力増設ユニット(ZB-MSU-3232)

※オプションにつきましては販売店までお問い合わせください。

MSW-3232



MSW-6432



## 故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	● 電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ● 電源スイッチは ON になってますか ● TV カメラからの映像信号は、入力されていますか ● モニタにモニタ出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	● TV カメラの同軸ケーブルは、正しく接続されていますか ● TV カメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか
PCにて 入力が正常に動作しない	● ケーブルの配線は、正しく接続されていますか ● 配線ケーブルにノイズがのっていませんか

### 修理を依頼されるときは

- 本機が正常に動作しないときは、「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、環境、動作をご確認ください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。  
品名：マトリックス スイッチャ MSW-3232/MSW-6432  
症状：設置状態を含めできるだけ詳細にお知らせください。

## 品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より1年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても下記により有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

## おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制、および防止器ではありません。

また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む、天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

## 必要なシステム構成

専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows 98 日本語版, Windows ME 日本語版, Windows 2000 日本語版, Windows XP 日本語版, Windows Vista 日本語版  
(Vista につきましては Microsoft® の DLL の環境により動作しない場合もございます)
- 200KB 以上の空き容量のあるハードディスク
- RS-232C ポート (シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム



# 保証書

品名： <b>MSW-3232/6432</b>	本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください No.	
お客様名：  ご住所 〒  TEL:	様	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より <b>1年間</b>	

# Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

営業部ダイヤルイン 042(742)2110

F A X 042(742)3631

E - M A I L info@n-artics.co.jp

U R L http://www.n-artics.co.jp

